

海の安全レポート

第七管区海上保安本部
海の安全推進室
Tel.093-331-6395 (交通部安全対策課)

第132号 平成29年2月

BACKNUMBER

http://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_zen_report/

釣り中の海中転落事故に注意してください！

1月に発生した釣り中に起きた事故の事例です。

ミニボート乗船中、転覆

【事件事例①】

風もなく穏やかな日、親子2人でミニボートに乗り、湾内で釣りをしていたところ、船尾に座っていた1人が、立ち上がった際にバランスを崩してしまい、そのため船が大きく揺れ、転覆しました。

2人ともライフジャケットを着用、近くの養殖筏に泳ぎ着き、携帯電話は防水だったため故障を免れ、118番へ救助を要請し、巡視艇に無事救助されました。



画像はイメージです

ミニボートの上で立ち上がると船体が大きく揺れ、転覆することがあります。



夜釣りで岸壁から海中転落

【事件事例②】

男性は、友人とともに、埠頭の岸壁で夜釣りをしていたところ、岸壁際にあった段差につまづき、バランスを崩し海へ転落しました。男性はライフジャケットを着用しておらず、救助を待つ間、沖へ流されそうになり危ないところでした。その後無事救助されましたが、低体温症と診断され入院することとなりました。

足元注意
凹んだ箇所



足元注意
ロープ



一見、足場が良さそうですが、危険が潜んでいます。



岸壁は安全に見えるためか、ライフジャケットを着けずに釣りをされる方が多くいます。岸壁にはハシゴがなく転落すると自力ではあがれません。岸壁でも釣りの際は、万一の転落に備え、ライフジャケットは必ず着用しましょう！



☆知っていますか☆

マリナー等楽しく遊ぶためには、いろんな工夫が必要です。今回はそんな工夫を紹介します。

携帯電話は水没を防ぐ工夫を！

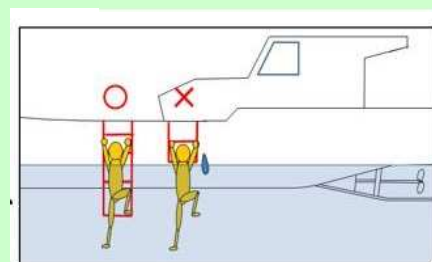
携帯電話の電源が入っていれば、たとえ所有者が電話に出なくても、おおよその位置を調べることができますが、海中転落し携帯電話が水没してしまったため、海難の現場を特定することができず捜索範囲が広範囲になってしまい、発見が遅れるといった事例がたくさんあります。マリナーで使用する携帯電話は防水型にするか、防水パックに入れるなどして、海中転落時にも使用可能な状態にしておきましょう。



船舶の舷側に手作りハシゴを設置！

落水して服が重くなった状態で船に上がるのは思った以上に困難なものです。

停泊してマリナーを楽しむ前に、船舶の舷側に常に梯子を備え付けておけば、誤って海中に転落した場合簡単に船舶に戻ることができます。



今回は、別紙に「自船復帰補助ロープ」(手作りハシゴ)の作り方を紹介します。ハシゴの一番下の段を海面下の足が掛けやすいところまで届く長さにしておくことが大事なポイントです。

今月の Topic 「ライフジャケット着用が義務化されます」

平成30年2月1日以降、小型船舶の船室外の甲板上では、原則、すべての乗船者にライフジャケットを着用させることが、船長の義務になります！

漁船やプレジャーボートなどの小型船舶から海中転落する事故により、毎年約80の方が命を落としています。また、ライフジャケットの着用率が3割前後と低い状況にあります。

海中転落の際、ライフジャケットを着用していれば、非着用者に比べ、生存率が約2倍になりますので、ライフジャケット着用を徹底しましょう。



2016年度 ミス日本「海の日」特別賞受賞者

平成30年2月1日以降、小型船舶の船室外の甲板上では、原則、すべての乗船者にライフジャケットを着用させることが、船長の義務になります！

国土交通省・水産庁・海上保安庁・警察庁

「自船復帰補助ロープ」作成要領

門可海上保安部航行安全課作成



次頁へ続く



3段目が必要
なら③から⑦
の繰り返しで
す。

